



広島国道事務所からの  
お知らせ

令和5年7月6日

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

## 国道2号東広島・安芸バイパスの開通により 所要時間約2/3に短縮！ ～あなたの朝に少しのゆとりを～

国道2号東広島・安芸バイパスの開通により、並行区間である国道2号の慢性的な渋滞が緩和し、通勤・通学時間帯の所要時間の短縮やバスの安定的な運行が可能となっています。

### <概要>

#### 【並行路線等の交通混雑の緩和】

○並行路線である国道2号の渋滞が緩和

(国道2号の交通量 海田付近:約3割減、瀬野東付近:約7割減)

○広島市役所⇄東広島市役所間の所要時間が開通前の約2/3に短縮

#### 【利便性向上】

○広島空港へのアクセス時間が約1割短縮＋定時性が向上

(所要時間のばらつき:開通前10分～31分、開通後9分～27分)

○朝の通勤時間帯の所要時間が安定(所要時間のばらつきが6分緩和)

○路線バスの遅れが緩和(バス利用者約26.5万人/年の平均遅れ時間短縮)

#### 【救急搬送活動の支援】

○走行性の向上による搬送者等の負担軽減(搬送時間が約2/3に短縮)

(問い合わせ先)

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長 河井 知久 (かわい ともひさ)

【担当】計画課長 森 英高 (もり ひでたか)

TEL (082) 281-4133 FAX (082) 286-7897

○広島国道事務所ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>



広島国道事務所 H P



ツイッター二次元  
バーコード

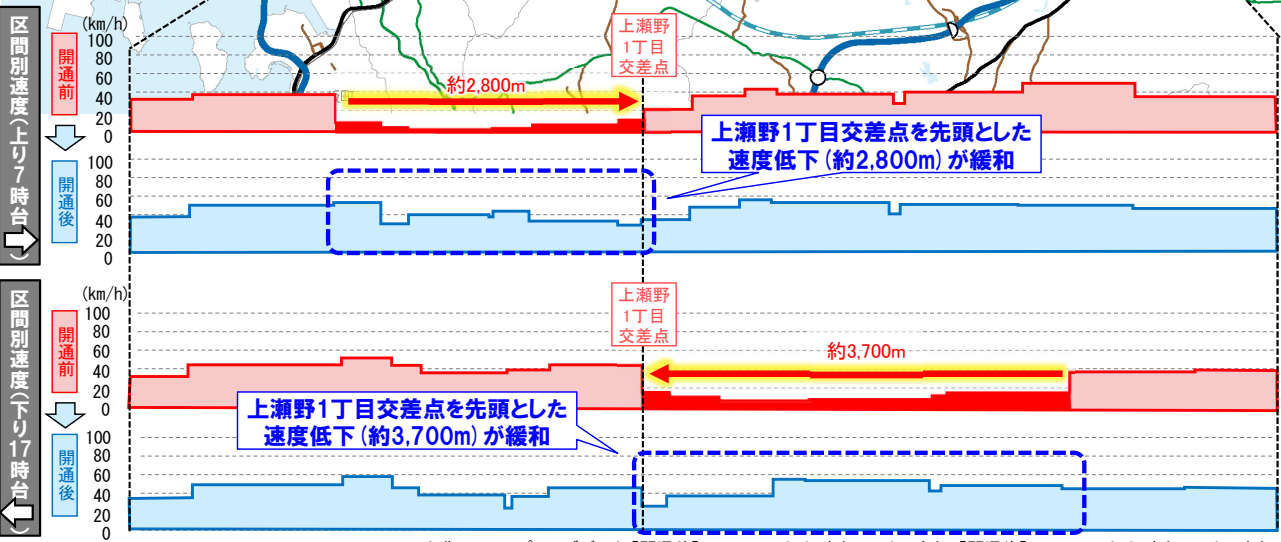
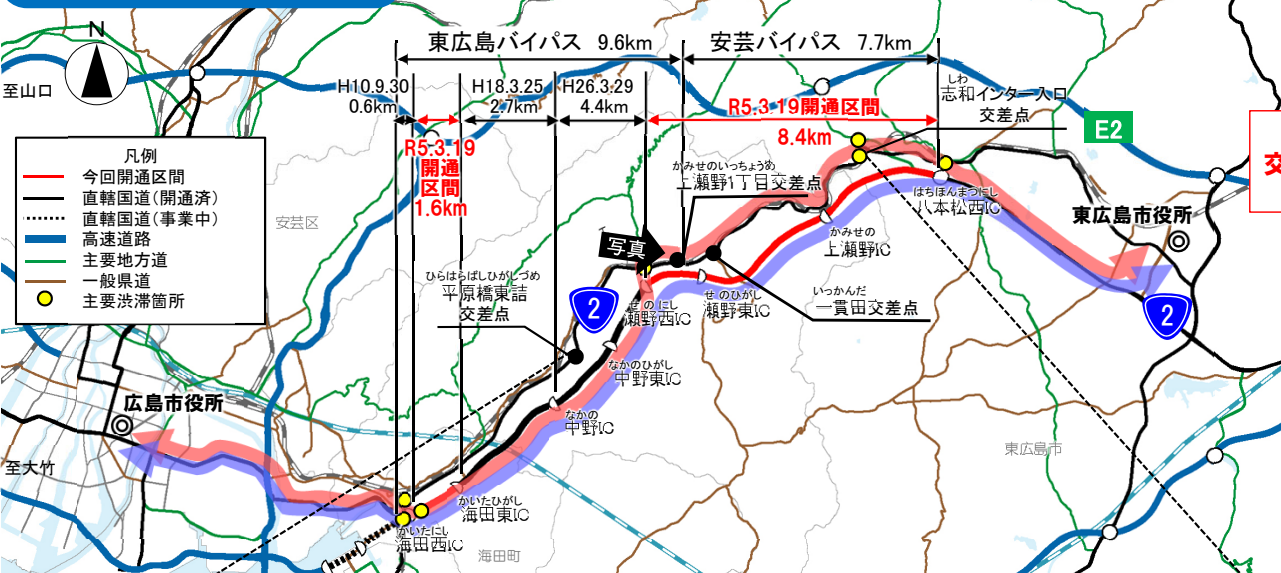
# 整備効果 交通円滑化

一般国道2号 東広島・安芸バイパス

## 並行路線等の交通混雑の緩和

○東広島・安芸バイパスの並行路線においては、国道2号の上瀬野1丁目交差点等を先頭とした速度低下が生じていました。  
 ○東広島・安芸バイパスの開通により、開通区間に交通が転換することで**国道2号の速度低下が緩和され、広島市～東広島市間の平均旅行速度が約10km/h向上、所要時間が約2/3に短縮**されるなど、円滑な交通が確保されています。

### 国道2号の旅行速度の変化



出典：ETC2.0プローブデータ【開通前】R4.10平日 上り7時台、下り17時台、【開通後】R5.4平日 上り7時台、下り17時台

### 上瀬野1丁目交差点の渋滞状況の変化



### 都市間の所要時間短縮



出典：ETC2.0プローブデータ【開通前】R4.10平日 7.17時台平均【開通後】R5.4平日 7.17時台平均

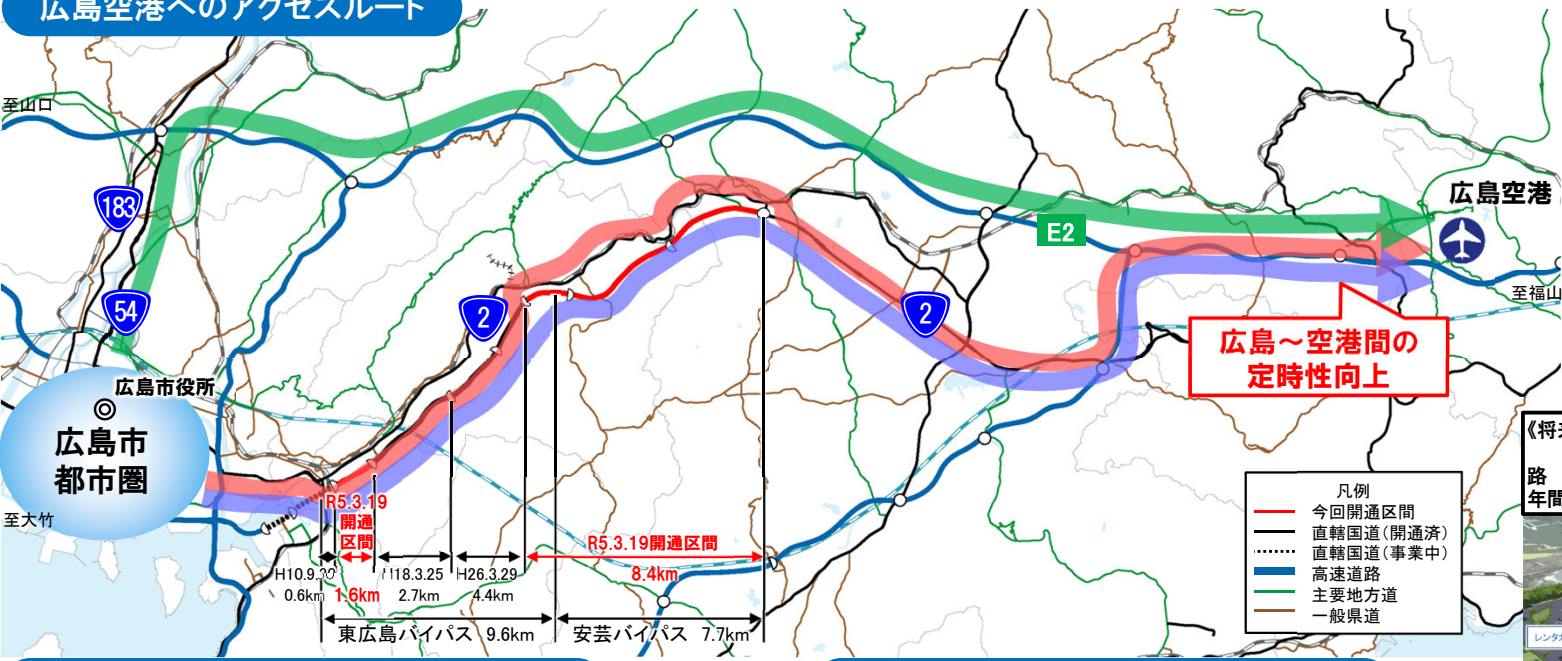
# 整備効果 空港

## 空港利用の利便性向上

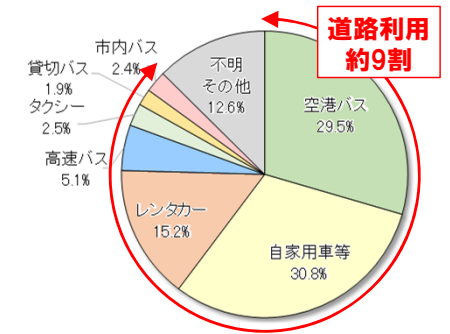
○中四国の玄関口である広島空港は航空旅客586万人を将来目標に掲げる中、**航空路線の誘致や空港の利用促進のため、広島都市圏とのアクセス機能強化が課題**となっていました。広島空港利用者の交通手段は約9割が道路利用であり、国道2号を経由したルートの場合、所要時間にばらつきがあり、アクセス時間が予測しにくい状況にありました。

○東広島・安芸バイパスの開通により、**所要時間の短縮とともに定時性が向上し、空港の利用しやすさ向上に寄与**しています。

### 広島空港へのアクセスルート



### 広島空港利用者の交通手段



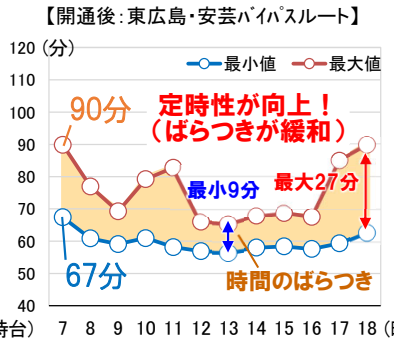
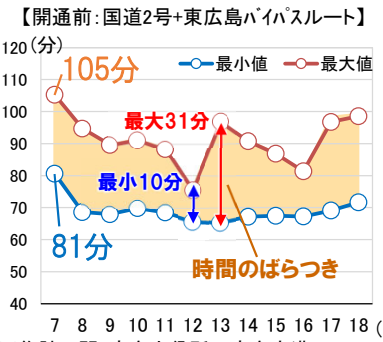
出典：R3航空旅客動態調査

《将来ビジョン》  
(H30年度) (30年後)  
路線数：12路線 → 30路線  
年間旅客数：300万人 → 586万人



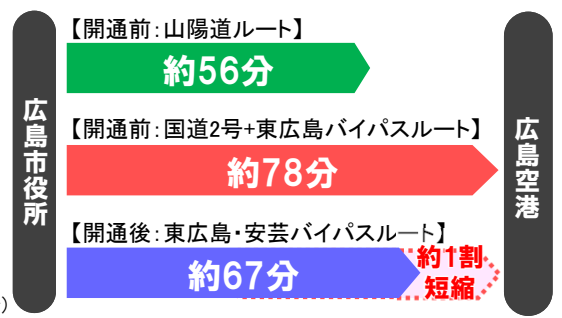
出典：広島空港特定運営事業等の優先交渉権者選定に係る客観的評価結果等の公表について(国土省報道発表資料)、広島国際空港株式会社HP

### 広島空港までの所要時間のばらつき



※集計区間：広島市役所⇒広島空港  
※時間帯別所要時間のうち、それぞれ最大値(95%タイル値)と最小値(5%タイル値)を表記  
出典：ETC20プローブデータ【開通前】R4.10平日 7～18時台平均、【開通後】R5.4平日 7～18時台平均

### 広島空港までの所要時間



出典：ETC2.0プローブデータ【開通前】R4.10平日 7～18時台平均、【開通後】R5.4平日 7～18時台平均

### 地域の声

・航空旅客586万人を将来目標に掲げる中で、航空路線の誘致や空港の利用促進のため、**広島都市圏とのアクセス機能の強化が最も重要**でした。

・東広島・安芸バイパスの全線開通により、**道路の信頼性の向上に加え、広島市内からの移動時間の短縮が図られていると考えられます**。空港利用の促進策としてバイパスルートでの**アクセスも紹介**しており、今後のさらなる利用者の増加にも期待しています。



(R5.5 航空関連会社 ヒアリング結果)

# 整備効果 通勤

## 通勤利便性の向上

- 事業所等が多く立地する**広島市**および**東広島市**間の**自動車・バスの通勤・通学者**は約**13,500人/日**と往来が多く、利用交通手段は、道路利用が最も多くなっています。
- 東広島・安芸バイパスの開通により、朝の通勤・通学時間帯における国道2号の交通分散が図られ、**広島市⇄東広島市の通行車両の約9割が東広島・安芸バイパスの開通区間を利用**するなど、通勤利便性の向上に寄与しています。

### 広島市⇄東広島市の通勤・通学移動



### 通勤時の所要時間

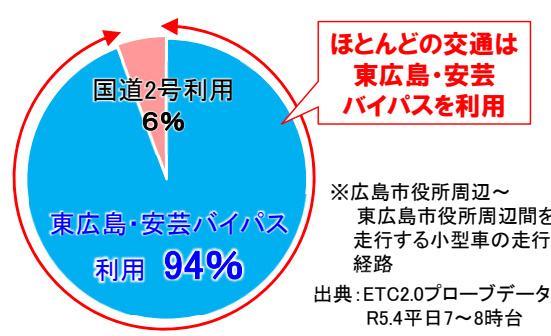
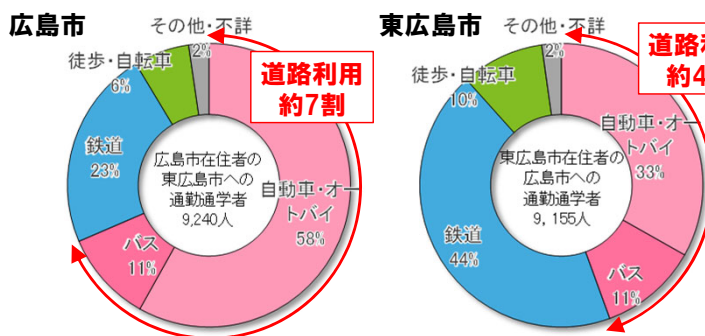


### 通勤時の所要時間のばらつき



### 広島市・東広島市在住者の通勤・通学の利用交通手段割合

### 広島市⇄東広島市の走行経路(7～8時台)



### 地域の声

・東広島市は広島市への近接性が魅力ですが、広島市内への自動車通勤は、山陽自動車道を利用すると費用がかかること、国道2号は渋滞のために1時間以上時間がかかり、実際の道路の距離に対して時間が掛かることが問題となっていました。

・東広島・安芸バイパスの全線開通により、**国道2号の上瀬野一丁目交差点・溝迫交差点、志和インター線などの渋滞が緩和しているように見受けられ、通勤がしやすくなっており、本市の魅力が一層高まった**と思います。

(R5.5 東広島市地域づくり推進課 ヒアリング結果)

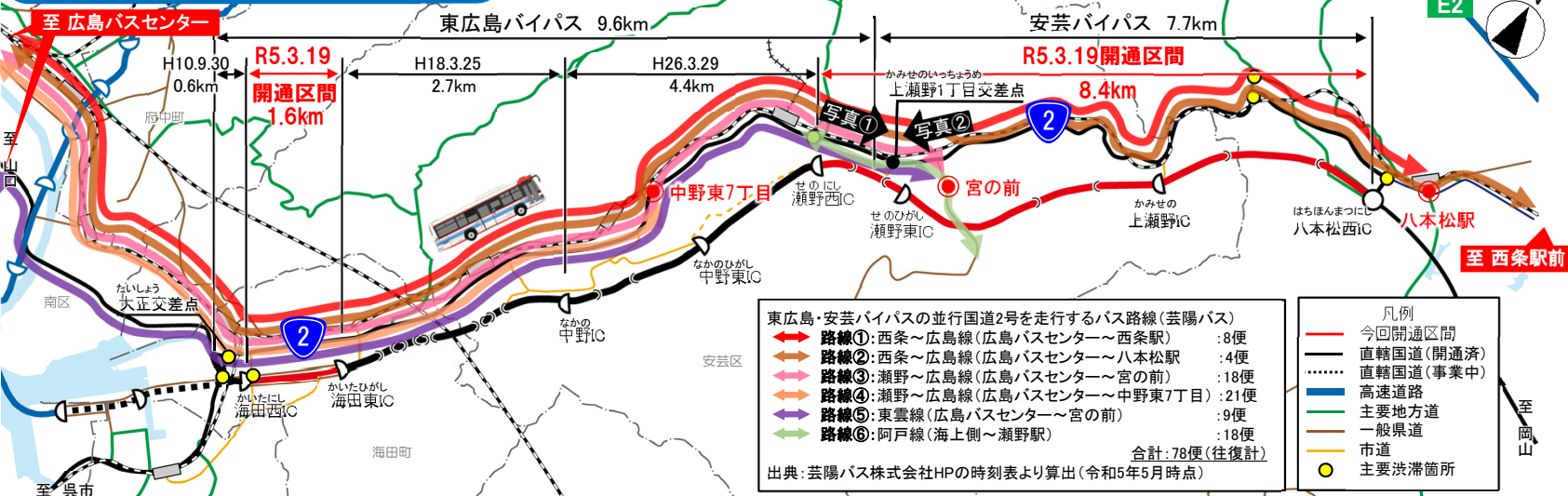
# 整備効果 公共交通

## 公共交通の利便性向上

○東広島・安芸バイパスに並行する国道2号を走行する路線バスは、平日往復計78便運行し年間約42万人が利用していますが、東広島・安芸バイパスの並行区間では、特に朝の時間に交通集中により旅行速度が低下し、バスの遅れが発生していました。

○東広島・安芸バイパスの整備により、国道2号の朝夕ピーク時の混雑が緩和しており、**運行している路線バスの遅れが緩和され、定時性の向上とバス利用者の約半数近くに当たる26.5万人の利便性の向上に寄与しています。**

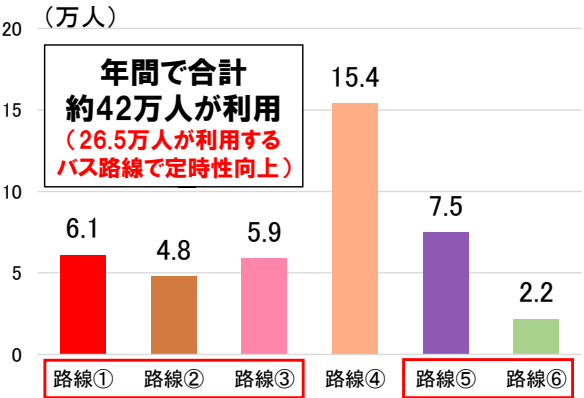
### 国道2号を走行する路線バスルート



### 【開通前】路線バスの国道2号運行状況

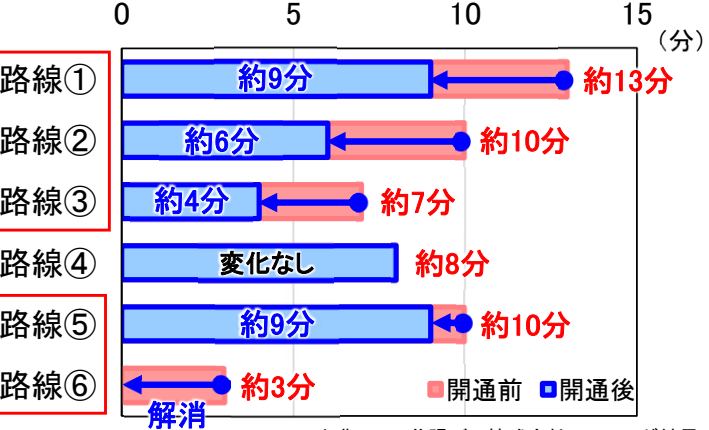


### 路線バスの利用者数



※R4年の利用者数  
出典: 芸陽バス株式会社 ヒアリング結果

### 路線バスの平均遅れ時間の変化



出典: R5.5 芸陽バス株式会社 ヒアリング結果  
※開通前: R4.9.1～10.31平日平均、開通後: R5.3.19～5.15平日平均

### バス会社の声

・今回の開通前は、国道2号大正交差点や上瀬野一丁目交差点付近を中心に通勤時ラッシュ時に渋滞が長く発生し、**路線バスの運行時間が通常時の倍以上の時間を要するなど、定時性の確保が困難な状況にありました。**

・東広島・安芸バイパスの全線開通により、並行する国道2号上瀬野付近の渋滞が緩和したことで、路線バスの遅延緩和に寄与しています。また、交通量が減少したことで、事故による運行困難などのリスクも減っています。



(R5.5 芸陽バス株式会社 ヒアリング結果)

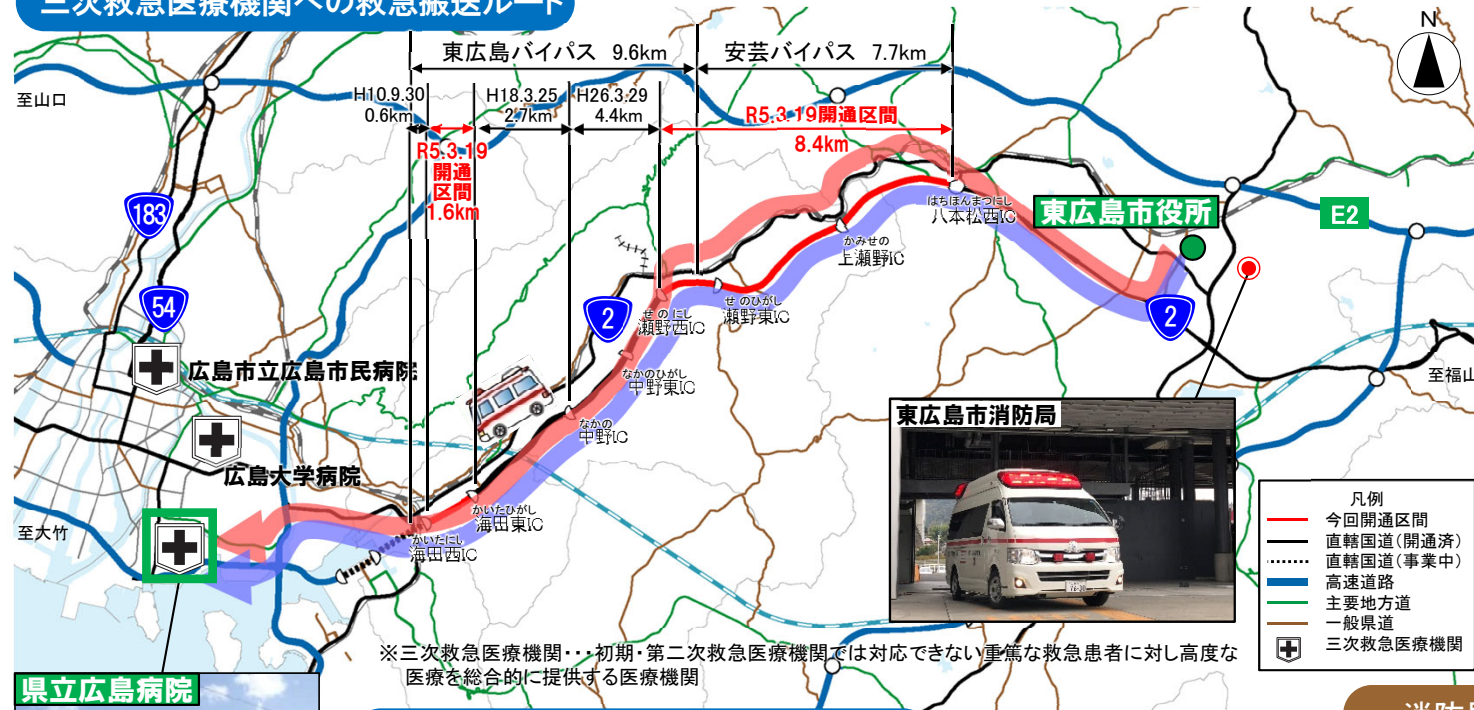
# 整備効果 救急医療

## 三次救急医療機関への救急搬送活動の支援

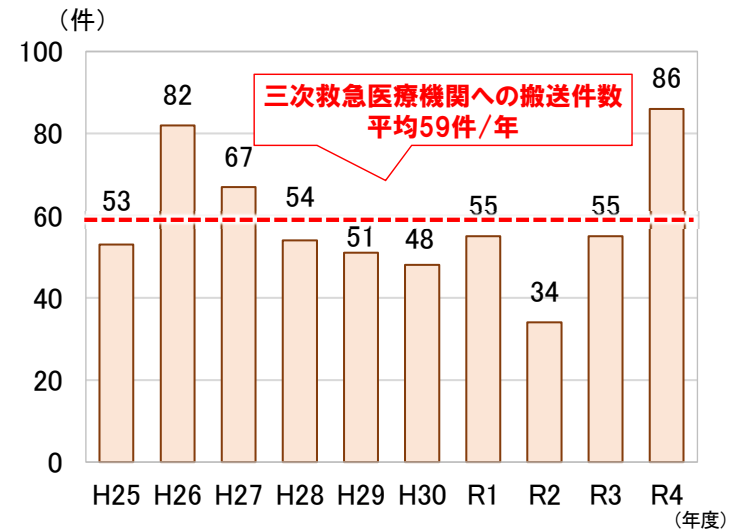
○東広島市には高度な医療が受けられる三次救急医療機関がなく、重篤疾患の患者等は広島市内の県立広島病院等の三次救急医療機関に搬送していますが、国道2号経由では大きく搬送に時間がかかっていました。

○東広島・安芸バイパスの全線開通により、アクセス性が向上しています。また、**走りやすい道路による搬送患者・救急隊員の負担軽減**など、救急搬送活動を支援しています。

### 三次救急医療機関への救急搬送ルート



### 三次救急医療機関への直接搬送件数



※直接搬送件数：病院間の転院搬送を除く、救急現場からの直接搬送件数  
 ※三次救急医療機関の直接搬送件数は、東広島市から広島大学病院、広島市立広島市民病院、県立広島病院への搬送を対象に算出

出典：R5.5 東広島市消防局 ヒアリング結果

### 救急搬送ルートにおける所要時間短縮

【開通前：国道2号+東広島バイパスルート】

約63分

【開通後：東広島・安芸バイパスルート】

約2/3に短縮 約48分

出典：ETC2.0プローブデータ  
 【開通前】R4.10平日 7～18時台平均、【開通後】R5.4平日 7～18時台平均

### 消防局の声

- 東広島・安芸バイパスの全線開通により、広島市内の県立広島病院や広島大学病院へは、山陽道利用のほか、東広島・安芸バイパス利用による搬送も行っています。
- 東広島・安芸バイパス利用の場合でも、今回開通により山陽道と同等の搬送時間で広島市内の三次救急医療機関へ搬送が可能となっています。また、開通区間はカーブ・渋滞が少なく、舗装状況も良いため揺れが少ない搬送が可能となり、患者・救急隊員ともに負担が大きく軽減されました。



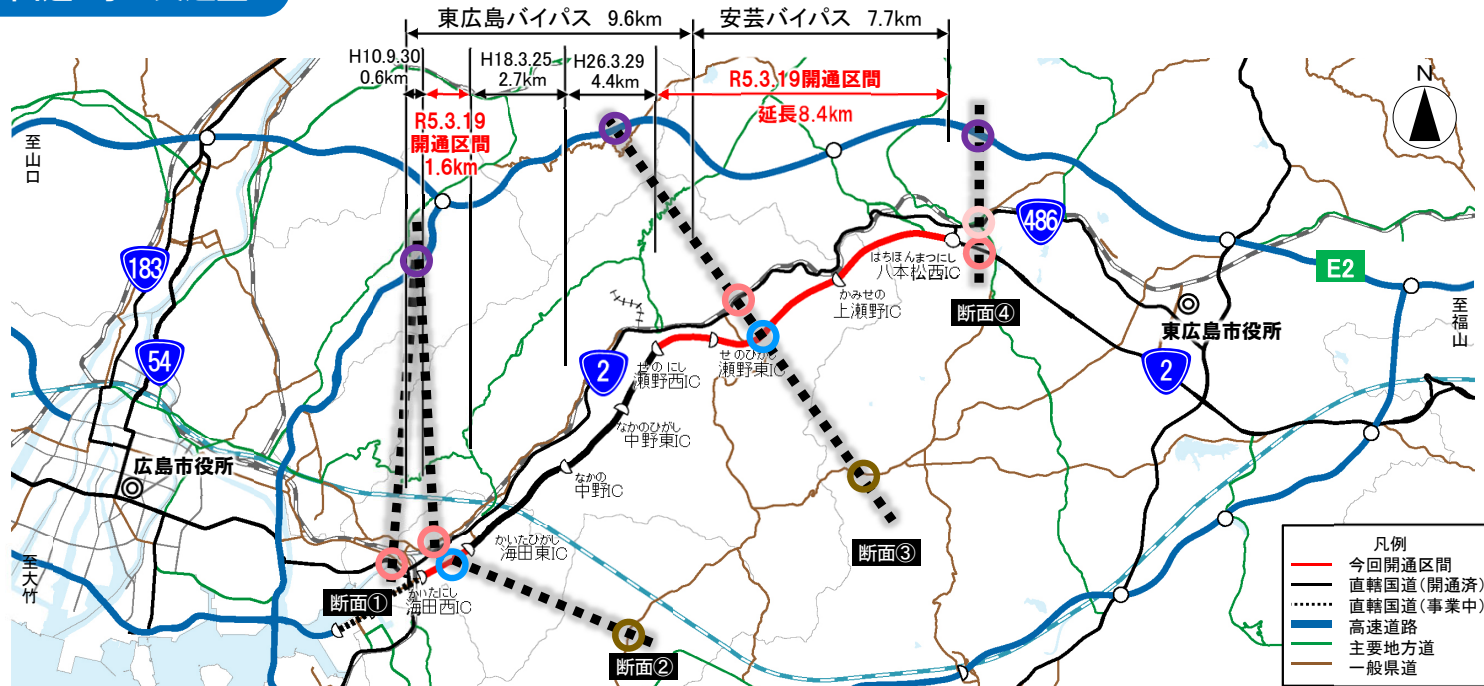
(R5.5 東広島市消防局 ヒアリング結果)

# 整備効果 交通円滑化

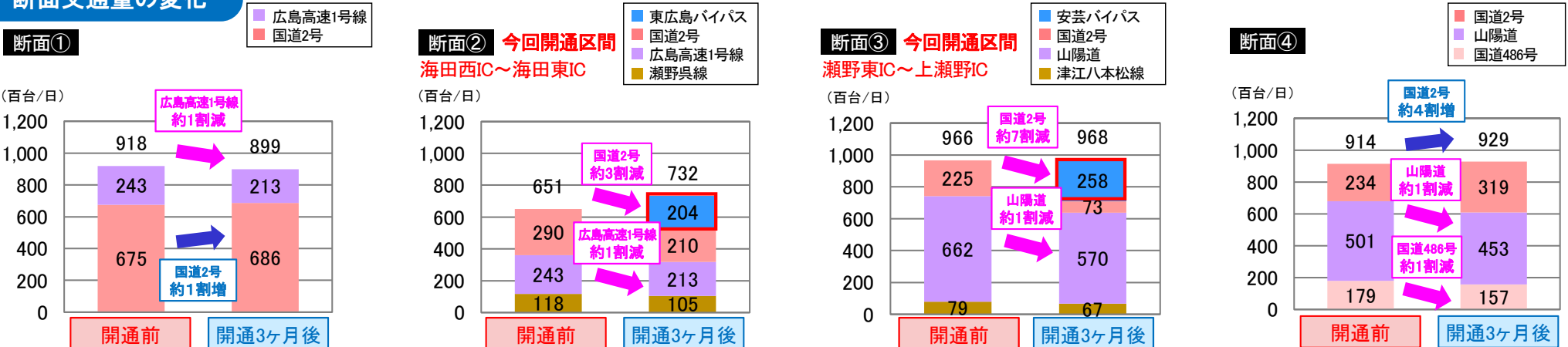
## 東広島・安芸バイパスへの交通転換

○今回開通区間3ヶ月後における東広島・安芸バイパスの交通量は約20,400～25,800台/日です。  
 並行する国道2号の交通量は約3～7割減少し、周辺の道路からも東広島・安芸バイパスへ交通が転換しています。

### 東広島・安芸バイパスと国道2号の交通量



### 断面交通量の変化



出典：交通量調査結果【開通前】R4.11.10(木)、【開通3ヶ月後】R5.6.13(火) ※【開通前】「瀬野呉線」「津江八本松線」は令和3年度全国道路・街路交通情勢調査、2号線の一部はR4交通量調査結果より